



大人に教えてもらしながら鎌を使って稻刈りを体験する園児たち=21日、福井市種池町で（山田陽撮影）

福井市の社中央第一こども園と同第二こども園の年長児38人が21日、同市種池町の田んぼで稻刈りを体験した。園児たちは暑さにも負けず、黄金色に実ったわせ品種「ハナエチゼン」を鎌で元気いっぱいに刈り取った。

大人に見守られながら、慣れない鎌をおそるおそる握る園児たち。田植え時は3本だった茎の本数が、収穫時には約30本にまで生育したことを数えて確認した。刈り取った稲は束ね、「はさ掛け」という昔ながらの方法で天日干しした。

両園の年長児は毎年、地元の農家、中

早く食べたい
新米おにぎり

東和栄さん(74)が管理する田んぼの50平方㍍で稻作体験をしている。7月にはかかし作りに挑戦し、大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」をイメージした作品が田んぼに並んだ。

初めて稻を刈ったという第一こども園の山村美月ちゃん(5)は「大きく育ってくれてうれしい。おにぎりにして食べたい」と笑った。9月には脱穀やもみすり作業を体験する予定。

(山本晃暉)

福井の園児 稻刈り体験